

科目名称:ソーシャルワーク論Ⅴ					
担当者名:内 慶瑞					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	3年前期	講義	選択	2	社会福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		14214005
授業概要:①総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際、②ソーシャルワークにおける援助関係の形成、③ネットワークの形成、④ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について、基本となる概念や理論、技術を学ぶ。					
到達目標:社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解できる。支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための知識と技術について理解できる。社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解できる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回	第1回	オリエンテーション	『講義概要』と教科書を事前に読み、授業の概要を理解する。(30)		
第2回	第2回	ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割(1)	教科書P.1～8を予習する。(60)		
第3回	第3回	ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割(2)	教科書P.9～14を予習する。(60)		
第4回	第4回	ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割(3)	教科書P.15～20を予習する。(60)		
第5回	第5回	ソーシャルワークにおける面接(1)	教科書P.21～25を予習する。(60)		
第6回	第6回	ソーシャルワークにおける面接(2)	教科書P.26～33を予習する。(60)		
第7回	第7回	ソーシャルワークにおける面接(3)	教科書P.34～45を予習する。(60)		
第8回	第8回	ソーシャルワークと援助関係(1)	教科書P.47～54を予習する。(60)		
第9回	第9回	ソーシャルワークと援助関係(2)	教科書P.55～59を予習する。(60)		
第10回	第10回	ソーシャルワークと援助関係(3)	教科書P.60～64を予習する。(60)		
第11回	第11回	社会資源の開発とソーシャルアクション(1)	教科書P.65～72を予習する。(60)		
第12回	第12回	社会資源の開発とソーシャルアクション(2)	教科書P.73～76を予習する。(60)		
第13回	第13回	社会資源の開発とソーシャルアクション(3)	教科書P.77～82を予習する。(60)		
第14回	第14回	ソーシャルワーク技法とアクティブラーニング	インターネットなどを活用してアクティブラーニングの意義について理解しておく。(30)		
第15回	第15回	まとめ	第1回～14回までの授業範囲を復習する。(120)		
履修に必要な予備知識や技能:ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳで学んだ内容を理解しておくこと。					
課題に対するのフィードバック:授業内で実施した小テストについては添削・返却するが、試験問題・用紙は返却しない。					
評価方法・基準:定期試験 85% 授業態度 15%					
教科書:使用予定の教科書『ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ』ミネルヴァ書房					
備考:					
実務経験の内容・期間:市社協福祉活動専門員 10年 県社会福祉士会副会長・理事 14年					